

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	地域間・国際交流	コード	作成者	役職	まちづくり推進課長
		05-02-01		氏名	末長章彦
			電話	64-1823	
			このシート作成に要した時間	1.0 時間	

この施策のアピールポイント	オーストラリア・クリア&ギルバートバレー町と、また韓国・蔚山(うるさん)広域市東区(とんく)との派遣、受け入れの相互訪問交流により国際的視野と国際協調の精神を養う機会を提供し、国際社会で活躍できる青少年の育成を目指している。
---------------	--

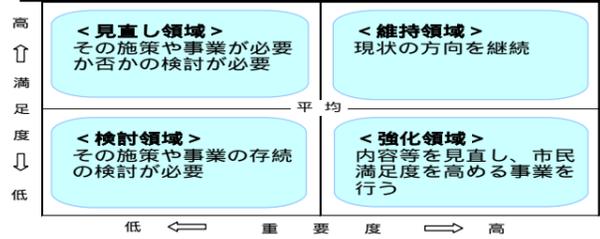
この施策の平成24年度の施政方針	オーストラリアのクリア&ギルバートバレー町と、韓国の蔚山広域市東区と青少年の相互訪問による交流を続け、次代を担う子どもたちの国際感覚を養っております。平成24年度は、両国から訪問団を受け入れることから、市内の国際団体を中心に事業を進めてまいります。また、市民主体の交流が一層図れるよう、当該団体が実施している英会話教室など、その活動の支援に努めてまいります。
------------------	---

< 備前市総合計画の内容から記載する >

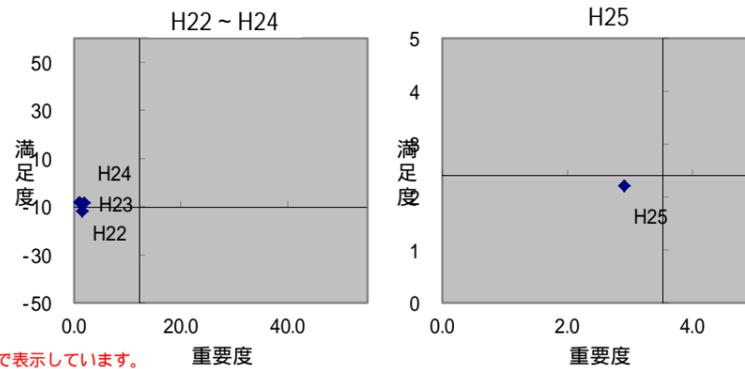
政策の体系	基本目標(大項目)	住民主体の協働のまちづくり
	基本施策(中項目)	ふれあい豊かなまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市民一人ひとりが国際感覚を身に付け、誰もが暮らしやすいまちを目指す。また、青少年の時から国際感覚を身に付け、グローバルな視野を持った人材を育成するため。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市は、オーストラリアのクリア&ギルバートバレー町との姉妹都市緑組、韓国蔚山広域市東区文化院との文化交流協定を締結しており、青少年による相互交流を行っている。今後は、本市の地域資源を活用し、他地域(市内・他市町村)との人的交流を促進するほか、交流地域や学校・国際交流関係機関との連携を図りながら、文化やスポーツ、観光などをはじめとする交流事業に取り組み、グローバルな視野を持った人材を育成する必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域間の交流事業の推進</li> <li>外国人との交流の促進</li> <li>外国との交流事業の推進</li> <li>外国人への支援</li> <li></li> <li></li> <li></li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H22	H23	H24	H25
重要度(%)	1.0	1.5	1.9	2.9
満足度(%)	- 8.1	- 11.8	- 8.3	2.2



横軸に重要度、縦軸に満足度をとり、それぞれの平均値を交点としてグラフ化しています。



H25から数値の採取方法を変更したため、別グラフで表示しています。

調査結果に対するコメント、市民の反応等	重要度も満足度も低く、市民の関心が低い施策。
調査対象でない施策は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H22	H23	H24			H25	H28
八塔寺国際交流ヴィラ利用者数	目標	人	850	850	850	利用者が多いことは国際化の進展を意味する。	H25	520
	実績	人	618	384	437		H28	850
	達成率	%	72.7	45.2	51.4		-	-
	ベンチマーク							
備前市国際区流協会個人会員数	目標	人	95	100	100	会員数は国際交流の意義を理解する民度。	H25	110
	実績	人	92	90	88		H28	130
	達成率	%	96.8	90.0	88.0		-	-
	ベンチマーク							
備前市国際区流協会法人会員数	目標	法人	12	12	12	会員数は国際交流の意義を理解する民度。	H25	15
	実績	法人	14	13	12		H28	20
	達成率	%	116.7	108.3	100.0		-	-
	ベンチマーク							
参考指標	目標						H25	
	実績						H28	
	達成率	%					-	-
	ベンチマーク						-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	A L T 事業	児童・生徒にも交流の機会を設けることができる。
市国際交流協会	英会話講座の開催	市国際交流協会会員が英会話を学ぶことができる。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)	
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	3	一過性の観光客でなく停留型の国際交流は八塔寺国際交流ヴィラで、また、市民の関心度は国際交流協会会員数で見ることができる。	
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3	海外相互派遣事業を豪州・韓国と実施しており、24年度は受け入れの年であった。国際交流協会への委託で実施するため、協会会員数の増加を図りたい。	
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	国際交流ヴィラは利用者数の回復を見せている。海外からのお客が見る本市はどうであるかを、知る必要がある。	
進行年度(H25年度)の取組内容(課題解決状況)		韓国豪州とは隔年交互訪問を実施しており、25年度は派遣団を送り出す年回り。	
翌年度(H26年度)の取組目標		国際交流ヴィラの茅葺屋根の改修を考える。	
二次評価者コメント		国際交流は、これからの社会の中で重要なものとなるので、行政としては、国際交流事業を推進するため、市国際交流協会を積極的に支援していくことが必要である。	基本施策への貢献度 <b>3 中立</b>
役職	市民生活部長		
氏名	野上茂之		

